

# Sound

一般財団法人  
住友病院

vol. 57

2023 SPRING

住友病院だより【さうんど】

特集

## 迅速かつ精度の高い診断・治療を支える 診療技術部

- コラム／ヘルペス疾患について
- 連携医療機関／本出診療所、繁田内科クリニック
- INFORMATION



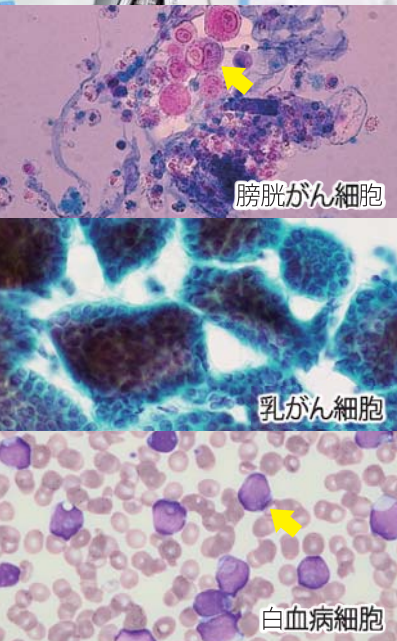
ご自由にお持ち帰りください

Illustration: Yosuke Asakusa



品質保証施設認証書

超音波検査精度認定証



私たち臨床検査技師が担当する検査は、血液中の成分の測定や体で生じる電気信号を計測する心電図、顕微鏡で細胞や組織を観察する病理検査、体の断面像を観察する超音波など多彩です。検査の目的も人間ドックのような健診から手術前の精密検査、救急など緊急検査まで様々で、多種多様な検査に対応できるよう研鑽を重ね各団体から品質保証や精度認定を受けています。今回はそのような臨床検査を「がん」の診断や治療を例にご説明します。

## 臨床検査科

### 生体検査

身体の内側を見る！

生体検査には心電図や脳波、超音波などがあります。当院の超音波は心筋梗塞や腹痛のほか手足のしこりまで幅広い検査が可能です。が「がん」の発見や手術前後の精密検査にも有効です。小さな病巣の発見には高い技術が要求され、日々研鑽を重ねています。

### 検体検査

データを見つめる！

血液や尿から「がん」の発見や治療効果を見るため、腫瘍マーカーなど多くの項目を検査しています。検査室では、数台の測定機器と機器をつなげ、さながらプラレールのような搬送システムを導入し効率よく検査をしています。臨床検査技師は、少しでも早く高い精度で結果を診療科に報告するため経験とシステムを駆使して日々努力しています。

### 形態検査

がん細胞を探せ！

「がん」が疑われた場合、顕微鏡で細胞や組織を観察する検査を行います。様々な臓器の細胞や組織を採って診断する細胞診検査や組織診検査、血液や骨髄から白血病を検査する血液検査、尿中から怪しい細胞を探す尿検査があります。これらの検査には専門学会の試験に合格した臨床検査技師が関わり、「がん」の早期発見に努めています。

### TOPICS

## PCR検査

コロナでおなじみとなったPCR検査は、唾液や鼻の奥にいるウイルスの遺伝子を数百万倍に増やすことで検出する方法です。当院では最新の検査機器を用い臨床検査技師が行っています。

# 迅速かつ精度の高い診断・治療を支える診療技術部

病気を診断し治療するそのプロセスには、医師以外にも様々な職種が関わり、それぞれの専門性を発揮しています。今回は多様な職種が所属し診療の質を支える屋台骨となっている、診療技術部についてご紹介します。



患者さまにとって病院とは、医師に診察・治療してもらうところというイメージが強いかもしれませんが。しかしその背景には医師以外の様々な部署、職種の働きが必要不可欠です。例えば臨床検査技師による素早く精度の高い検査がなければ、医師は正しく診断し、速やかに治療を施すことができません。手術後のリハビリがしっかりできていなければ機能の回復が遅れる、あるいは戻るはずの機能が戻らないこともあり得ます。また人工心肺装置や人工呼吸器といった生命維持に関わる医療機器の管理は臨床工学技士が行い、手術や治療において大いに活躍しています。このように、今や診療は医師のみで完結できるものではなく、その他多くの職種が横断的に連携したチーム医療によって成り立つものとなっています。

住友病院の診療技術部には各科合わせて131名の職員が所属し、それぞれが国家資格を有しているだけでなく、多くの職員が各専門領域を究めた認定資格も取得しています。中には医学物理士や感染制御認定臨床微生物検査技師など非常に取得困難な資格も含まれ、一人ひとりがより良い医療を提供するための研鑽を積んでいます。医療技術は日進月歩で高度化・複雑化・多様化していますが、診療技術部では質の高い医療技術と情報を的確に提供するため、それらを常に学んで修得し、「患者さまの役に立つこと」を究極の目標としてチーム医療に取り組んでいます。



外科系副院長  
兼 診療技術部長  
**妙中 直之**  
Naoyuki Taenaka

診療技術部副部長

**幸福 知己**  
Tomomi Kofuku



## 最新技術を駆使してチーム医療の一翼を担う診療放射線技師

**がん治療** 放射線治療室では「MRT」と呼ばれる治療を主として行っています。これはX線の強さを変化させ、がんに集中的に放射線を当てることができる治療法です。健康な臓器に当たる放射線を少なくすることができ、副作用が出にくいのが特徴です。患者さまの体格や病状などを考慮し、医師と医学物理士、診療放射線技師が協力して一人ひとりに専用のプランを作成して治療しています。

**手術支援画像** 放射線診断技術室ではCTやMRIで撮影した画像を用いて手術や患者さまへの説明に役立つ手術支援画像（3D画像）を作成しています。特に近年はロボット手術などの低侵襲手術が行われており、腫瘍などの位置が把握できる3D画像の需要が高まっています。画像を作成するにあたり大切なことは最適な撮影であり、しっかりと息止めをしていただくなど患者さまの協力が必要不可欠です。これからも丁寧な検査説明を心掛け最適な3D画像を作成し医師に提供することでチーム医療に貢献していきたいと思っています。

### 放射線技術科



## 急性期医療としてのリハビリテーション

リハビリに関わる理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が取得する国家資格は、最近テレビドラマや映画の中で見かけられるようになり、ようやく世間に認知されてきました。骨折などの手足のリハビリや脳梗塞などの言語のリハビリは、皆さまも思い浮かべることができると思います。現在では、心臓外科の術後や、肺がん手術後のリハビリなども全国的に積極的に行われています。当院でも心臓リハビリテーション指導士や呼吸療法認定士などの認定を受けたセラピストが、より専門的にリハビリテーションに従事しています。ICU（集中治療室）でも積極的にリハビリを実施、早期退院を可能にしています。

チーム医療の一員として、医師や看護師、その他の職種の方々とともに連携を深めながら、患者さまの回復を目指し、ともに頑張っています。

### リハビリテーション科



## 病気を治すために

栄養はとても大切です。入院中は病状に合った食事の提供や提案を行っています。食欲が低下している患者さまにはNST（栄養サポートチーム）や緩和ケア、呼吸器ケア、また、認知症、褥瘡などチームメンバーとともに「食事の形態変更や栄養剤・点滴追加を含めて、栄養状態改善に努めています。食事に関する疑問や心配事がありましたら医師に「食事指導を受けたい」と伝えてください。入院・外来問わず毎日予約制で実施しています。

### 栄養管理科

### 臨床工学科

## 臨床工学技士とは

医学の進歩に伴い高度化する医療機器を医学的・工学的な知識を持つて操作・管理を行う専門家です。患者さまを中心に多くの医療スタッフと連携してチーム医療を行います。このチーム内で医療機器に精通した職種として、現代医療には欠かせない職種です。

### 業務内容

人工心肺装置や人工呼吸器といった生命維持管理装置を安全かつ的確に操作・管理するのが主な仕事です。これらの機器は緊急使用も多いため、当直体制を整え迅速に対応しています。また人工心肺を使用する緊急手術や心臓カテーテルではオンコール体制で緊急対応に備えています。

近年の医療ではICT化が急速に普及し、ロボット手術や遠隔モニタリングなど広汎に活用されています。このため、臨床工学技士も様々な分野での業務が拡大しています。これらに対応するため、日々研鑽を重ねる業務に取り組んでいます。



### 臨床心理科

## 心の健康が専門です

大きな病気になると将来に不安を感じ、気分が落ち込むことがあります。当科は安心して治療を受けられるよう、患者さまの気持ちをサポートしています。がん治療中の気持ちの辛さや、糖尿病の食事制限を日常生活で維持する難しさ、小児科に通院しているお子さまの発達相談など、お話をうかがい解決策と一緒に考えます。

また、こころの悩み全般に関してのカウンセリングもお受けしています。へ06・6443・1261（代表）までお問い合わせください。スタッフは全員、国家資格である公認心理師を取得しています。安心してご相談ください。

### 視能訓練科

## 視能訓練士とは

主に眼科で行われる検査の大部分を担っています。検査の種類は多岐にわたりますが、特に白内障や網膜の手術前に行われる術前検査に力を入れています。これらの手術では、目の中にレンズを挿入しますので、このレンズ度数の計算に手術前の検査が重要になってきます。当院の眼科には手術に関連する検査機器が豊富にあり、それらのデータを見比べながらより正確なデータを求めて検査を行っています。また、最新の眼科医療に常に対応できるように日々勉強し治療成績の向上に努めています。



## 連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

### 本出診療所

診療科目：胃腸科、内科、外科

〒530-0035 大阪市北区同心1-8-3  
TEL. 06-6353-0012



院長 本出 肇 Hajime Honde

【アクセス】  
JR大阪環状線桜ノ宮駅、  
JR東西線大阪天満宮駅から  
徒歩約10分



緑に囲まれたモダンな外観が特徴の本出診療所。お父様が開院され、1992(平成4)年に本出肇院長が引き継がれました。昨年は大阪市北区の医師会長も務められています。

▶本出院長はもともと消化器外科が専門とおうかがいしました。

そうです。現在は風邪や腹痛などの突発的な症状から高血圧をはじめとする生活習慣病などの内科全般、そしてご自宅で療養されている患者さまの往診まで疾患を問わず幅広く対応しています。いわゆる医療の“よろずや”ですね。

▶親子3代にわたって来院されている方もいらっしゃるそうですね。

はい。「病は気から」といいますが、安心して医師に治療を任せてもらうことが第一歩だと思っています。そのため、皆さまには痛みや咳、熱などの症状を無視したり、一時的に特効薬などで症状を抑えたりするようなことはせず、重篤になる前に相談してほしいとお伝えしています。

▶メッセージをお願いします。

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、受診遅れや受診控えが目立ちます。身体に異常を感じたら早めに受診してください。また、当院では時間を区切って発熱外来も実施しているので、「発熱があるから受診せずに様子を見た方がいいかな?」と思わずに、ご相談ください。まずは病気を見つけることから治療が始まると思っています。

### 繁田内科クリニック

診療科目：内科、糖尿病内科

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-2-17 緒方ビルB1F  
TEL. 06-6201-2220



院長 繁田 浩史 Hirofumi Shigeta



【アクセス】  
Osaka Metro御堂筋線・京阪本線  
淀屋橋駅から徒歩約5～10分

<https://www.shigetaclinic.jp/>



オフィス街の中に位置し淀屋橋駅だけでなく北浜駅からも徒歩圏内の繁田内科クリニック。近隣のオフィスワーカーを中心とした方々御用達のクリニックです。

▶糖尿病・内分泌内科が専門とおうかがいしました。

はい。糖尿病についてはインスリンなどの自己注射導入、間歇式キャン式持続血糖測定器の併用も可能で、忙しいオフィスワーカーの方々には好評です。その他にも高血圧や脂質異常症などの生活習慣病を中心とした内科全般、そして定期健診で異常が見つかり相談される方も多くいらっしゃいます。

▶繁田浩史院長は会社員として働いた経験もあるとか。

そのとおりです。大学や病院勤務後、製薬会社で6年間新薬の臨床開発に従事し、マーケティングにも参画しました。この会社員の経験から、オフィスワーカーの患者さまの置かれている状況や気持ちに寄り添って治療を行うことができていると考えています。内科疾患で通院中の患者さまからメンタルヘルス関連の相談を受けることもあります。気になることがあれば気軽に相談ください。

▶心がけていらっしゃることはありますか。

患者さまのバックグラウンドをしっかりと理解して一人ひとりの人柄をふまえて治療することですね。また、最新の医療情報や技術習得のために学会集やセミナーに積極的に参加するよう努めています。

医療機関の皆様へ【検査・診療予約のご相談はこちらまで】

住友病院 地域医療連携室 TEL. 06-6447-3031(直通) FAX. 06-6447-3052  
受付時間/平日 8:30～19:00



## ヘルペス疾患について



皮膚科 診療主任部長 庄田 裕紀子

ヘルペスという疾患には、主に単純ヘルペスと帯状疱疹(帯状ヘルペス)の2種類があります。どちらもヘルペスウイルス属のウイルスによる感染症ですが、実は異なる疾患です。昔から熱の華と呼び、疲れる度に口唇の端に水疱が出るのが口唇ヘルペス(写真1)です。口唇以外にも臀部の皮膚や外陰部にも出る人がいます。2週間ほどで自然治癒しますが、5日間の飲み薬で速やかに軽快します。



写真1

一方、帯状疱疹(写真2)は水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症です。小児期などに水痘に罹患すると、もう二度とかわからないと思われていますが、実は体内の神経に永久に潜み続けます。抵抗力(抗体)が充分あるうちは何の問題も起こしませんが、何年もたってから、高齢化、大病、疲労などによって抗体が低下すると、ウイルスは神経の根っこから神経に沿って活性化し、その神経領域の皮膚に紅斑と水疱を発生させ、神経痛も伴います。神経に沿って皮疹が帯のように出るので、“帯状”疱疹と呼ばれています。



写真2

症状は主にピリピリ、チクチクとした疼痛が先行し、その後紅斑と水疱が出現しますが、重症だと発熱や全身に水疱が拡散し、まるで水痘のようになります。約2週間で皮疹は軽快しますが、後遺症として神経痛が数週間以上、中には残存し続ける人もいます。さらに、神経麻痺を伴う場合は速やかに入院して治療を開始する必要があります。帯状疱疹の治療は抗ウイルス剤を1週間内服あるいは入院で点滴しますが、発症してから数日以内に開始しないと効果は薄れます。

最近帯状疱疹のワクチンが50歳以上の人に投与可能となりました。ワクチンには2種類あり、一つは小児で使用するのと同じ生ワクチンです。1回の接種で約5年間有効、比較的安価ですが免疫抑制状態の患者さまは使用できません。もう一つはシングリックスという新しいワクチンで、2ヶ月間隔で2回接種し、費用は高額ですが約9年間は有効とされています。ワクチンの接種については当院の皮膚科へお問い合わせください。



## INFORMATION



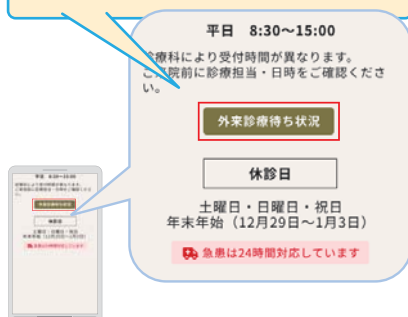
### 診察待ち状況をスマートフォンで確認できます

当院のホームページからお手元のスマートフォンで、診察待合に表示されているリアルタイムの診察待ち状況をご覧いただけます。待ち時間を有効に活用するためにも是非ご活用ください。



#### スマホトップページ画面

赤枠の「外来診療待ち状況」をクリック



#### 外来診療待ち状況のページ画面

科ごとの外来診療の待ち状況が一目で確認できます。



### 今年もNewsweek「世界のベスト病院」に当院が選出されました

Newsweek(\*)が選ぶ「世界のベスト病院2023」(対象:28か国)に当院が選出されました。今回は、日本全国で197施設、大阪府内で15施設のひとつとしてランクインしています(全世界で計2,330施設が受賞)。

ランキング発表が開始された2019年から5年連続となる受賞に職員一同感謝し、より一層「信頼性の高い医療で社会に貢献」できるよう引き続き努めてまいります。

\*アメリカを代表するニュース週刊誌



### 2023年度 市民公開セミナーのご案内(オンライン開催を予定)

当院では、市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催しています。参加費は無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。



| 開催日                        | テーマ(仮題)                                        | 担当科(予定) |
|----------------------------|------------------------------------------------|---------|
| 2023年 6月30日(金) 14:00~15:00 | 「この15年 糖尿病診療はこんなに変わった」<br>～薬物治療のパラダイムシフトとIT革命～ | 内分泌代謝内科 |
| 2023年 9月21日(木) 14:00~15:00 | 知らぬ間に出来ているかも？ 内臓動脈瘤                            | IVRセンター |
| 2023年12月14日(木) 14:00~15:00 | ロボット手術について                                     | 整形外科    |
| 2024年 3月 7日(木) 14:00~15:00 | がんの放射線治療                                       | 放射線治療科  |

※セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。



### ゴールデンウィークの診療体制

ゴールデンウィークの診療日は右記の通りです。  
ご注意ください。

| 土            | 日    | 月    | 火    | 水            | 木    | 金    | 土    | 日    | 月    |
|--------------|------|------|------|--------------|------|------|------|------|------|
| 4/29         | 4/30 | 5/1  | 5/2  | 5/3          | 5/4  | 5/5  | 5/6  | 5/7  | 5/8  |
| 通常診療なし(急患のみ) | 通常診療 | 通常診療 | 通常診療 | 通常診療なし(急患のみ) | 通常診療 | 通常診療 | 通常診療 | 通常診療 | 通常診療 |

今号の広報誌「Sound」の取材に関しては、マスク着用の上実施し、撮影時のみマスクを外して行っています。

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20

TEL.06-6443-1261(代表)

【受付時間】 8:30~11:30、12:30~15:00

“Sound”には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院より「Sound」 ◎発行人:金倉 譲 ◎編集:布部 真哉、西野 秀、増田 亮、中村 梓

「こんなことが知りたい」など、本誌についてのご意見・ご感想を当院ホームページの「お問い合わせ」フォームにぜひお寄せください。よりよい誌面づくりの参考にさせていただきます。住友病院より【Sound vol.57】 2023年4月1日発行



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。



住友病院

住友病院

検索

